

# たまな通信

(財)東京都保健医療公社  
多摩南部地域病院  
地域医療連携室第43号  
平成13年9月 1日発行

今月号より当院の各部門からの通信を始めることになりました。第1回目にあたる9月号は、看護婦(士)の業務について紹介します。

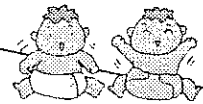
私たち看護職員は、患者さんに満足していただける看護の提供に努めています。

約200名の看護職員が、病棟、ICU/CCU、手術室、外来、中央材料室、地域医療連携室などいろいろな部門で、患者さん中心の看護をめざし、「この病院に来てよかった」と思っていただけのように努力しています。(看護婦平均年齢27歳です。あまり関係ないですね)

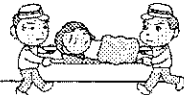
私たちは、患者さんの病気や入院によって生じるあらゆる問題をサポートしていきたいと考えています。1人の患者さんの入院から退院までを一貫して受け持ち、継続的にかかわることで、「私の患者さん」「私の看護婦さん」という信頼関係を築き、患者さんといっしょに問題を解決していけたらと思います。受持ち看護婦不在時でも、安心して任せていただけるよう、スタッフ全員協力して看護にあたっています。

それぞれの部門の看護や特色の一部を紹介します。

## 3西病棟



## 救急外来(外来)

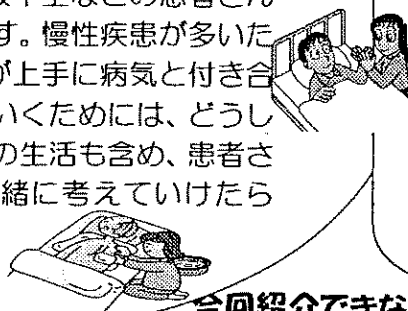


救急患者さんは年間2000人に及びます。小児から老人までの幅広い年齢層、また、軽症の患者さんから救命処置が必要な患者さんと重症度もさまざまです。看護婦は一人一人の患者さんに適切に対応し、緊急度に応じた処置や説明、生活上の指導が行えるよう努めています。

小児科、泌尿器科、眼科、整形外科の混合病棟です。いろいろな診療科の小児も入院しています。そのため入退院も激しく、手術日には、1日に7~8件の手術がおこなわれています。こうしたあわただしい中であっても常に笑顔と暖かい対応を忘れないよう心がけています。特に小児においては、病気のみならずご家族の不安も含め育児上のご相談にも対応できる看護を提供したいと思っています。

## 5東病棟

40床の内科病棟です。炎症性腸疾患や、肝硬変・肝臓腫瘍等の肝疾患、糖尿病、肺炎・慢性呼吸不全などの患者さんが入院されています。慢性疾患が多いため、患者さん自身が上手に病気と付き合いながら生活していくためには、どうしたらよいか退院後の生活も含め、患者さんや家族の方と一緒に考えていけると努めています



## ICU/CCU

ベットは6床で、循環器疾患の急性期や診療科を問わず重症患者さんの看護にあたっています。ここでは、生命維持を目的としているため、安全に留意することはもちろんですが、生命の危機的状況にある患者さんおよびその家族の方の精神的支えになれたらという思いで接しています。

今回紹介できなかった病棟等は、次回をおたのしみに!!



## 医療事故防止に積極的に取り組んでいます。

当院看護科では、事故予防職場委員が中心となり、職員全員一丸となって安全対策を実施しています。「思い込み」「うっかり」によるミスを防ぐため、薬剤の確認は2人の看護婦でダブルチェックをし、決められた項目に沿って確認しています。また注射等施行時の患者取り違えや投与方法のミスを防ぐために、実施前に確認をし、さらに患者さんと一緒に「呼称・指さし確認」を行なっています。その他、薬液の持ち運びや注射器の取り扱いについても、ルールを決め、重大事故に結びつかない対策をとっています。(看護科)

♪「多摩南ミ二通信」をご希望の方は面会受付にお申し出ください。♪

R70

各病棟看護70%再生紙を使用しています